

令和6年度 第20回 翔陽祭 講評

校長 博田

生徒の皆さん、翔陽祭、お疲れ様でした。各クラスや部活動、有志団体ごとに夏休み前の早い時期から計画を立てて準備を進め、みんなで協力して作り上げた成果が土曜と日曜の2日間で大いに発揮されたことと思います。今年は台風10号の接近による臨時休校があり、日程的に少し厳しかったことや苦勞したこともたくさんあったと思います。しかし少しでも良いものを完成させたいという強い思いで、その困難も乗り越えて充実感を得た人も多かったのではないのでしょうか。翔陽祭当日は2日間とも天候に恵まれ、2,000人を超える多くの来校者があり、皆さんの活動の様子を見ていただくことができました。本当に素晴らしい文化祭だったと思います。

このあと翔陽祭実行委員会から、各賞の発表と表彰があります。バラエティー、食販、公演、展示、垂れ幕など部門ごとに、また栄えある翔陽大賞を受賞し表彰される団体の皆さんの栄誉を称えるとともに、健闘したすべての皆さんの努力を称えたいと思います。

校門前に設置された各団体の垂れ幕は、どれもカラフルで個性豊かに作られており、それぞれの良さが感じられインパクトのある仕上がりになっていました。公演部門では、舞台のセット、演出や演技、ストーリーの構成などにそれぞれ工夫が凝らされ、心から楽しむことができました。バラエティー部門や展示部門、食販部門では、それぞれのクラスの良さが表れ、感動する場面がたくさんありました。例えば、教室を飾り付けるにあたっても、ただきれいに飾り付けるだけではなく、見に来た人に楽しんでもらえるような仕掛けを用意するなど、皆さんの心意気が強く感じられました。また久しぶりに再開した食販部門のお店では、お客様に喜んで食べてもらえるような工夫やサービスが随所に感じられ、さすがと思わせてくれるものが多くありました。

さらに2日目には後夜祭を体育館とグラウンドで実施しました。有志団体によるバンド演奏やダンスグループがそれぞれの迫力あるパフォーマンスを披露

し、その後の豪華な花火打ち上げも含めて大いに盛り上がり、大きな充実感と満足感を持って下校する皆さんの笑顔が印象に残りました。翔陽高校の生徒にしかできない、オンリーワンの文化祭が、きっと実現できたのではないのでしょうか。その意味において、この文化祭に向けて取り組んだ生徒の皆さん一人ひとりの頑張りの成果が、翔陽高校の文化を形作ったといえるでしょう。困難な状況を負けずに一致団結して乗り越えたみなさんのこの経験は、これから生きる上で自信と勇気を与えます。

今回私が一番嬉しかったのは、各団体の会場を回った際に、皆さんがあふれる笑顔とあたたかい言葉で迎えてくれたことです。また来場者の皆さんはもちろん、校内の生徒たちや先生方を全力で迎えてくれた皆さんの笑顔と言葉に改めて感謝します。

最後に、やりきった自分、支えてくれた多くの仲間、運営に携わってくれた翔陽祭実行委員会、生徒会執行部を始め、みなさんにねぎらいと感謝の気持ちを込めてと拍手をしたいと思います。「ありがとう」。みなさん拍手をお願いします。

むすびにあたり、先生方や保護者の方々に、あらためて心から感謝いたします。先生方や保護者の方々の支えがあってこそ、皆さんが頑張れたのだと思います。今回の翔陽祭で生み出された成果が、今後皆さん一人ひとりが学習や部活動、生徒会活動などを頑張るためのエネルギーになって、すべての皆さんの成長につながることを大いに期待して、翔陽祭の講評とします。

ありがとうございました。